

インフォシス、Ethisphere Institute により「世界で最も倫理的な企業」と評価される

バンガロール (インド) – 2021 年 2 月 23 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、倫理的ビジネス・プラクティス標準の定義と推進で世界を主導する [Ethisphere Institute](#) により、2021 年の世界で最も倫理的な企業 (World's Most Ethical Companies) として評価されたことを発表しました。インフォシスは、誠実さと価値に基づく意思決定への純粋なコミットメントで高い評価を獲得しました。今回の待望の受賞により、インフォシスは、世界中のソフトウェアおよびサービス産業から選出された 4 社のうちの 1 社、およびインドから選出された 3 社のうちの 1 社となりました。

2021 年は、22 か国 47 業種にわたる 135 社がこの評価を受けました。本年度は選考過程が整理され、質問事項は、世界的な保健衛生上の危機、環境問題、社会的およびガバナンス要因、安全性、公正さ、包摂性、および社会的正義に対し、企業がどのように適応し対応しているか、といった問題まで拡張されました。インフォシスは、倫理的プラクティスとグローバル市場での堅調な業績の間に、強いつながりがあることを示しました。今回の受賞では、倫理・コンプライアンス、多様性、ガバナンス、社会的取り組みの分野におけるインフォシスの活動が新たに注目を集めました。

Ethisphere の最高経営責任者 Timothy Erbllich 氏 は次のように述べています。「2020 年は世界に数多くの災いが起きた年であり、これまでで最も評価が難しい年に数えられます。企業が困難な課題に対処する中で、レジリエンスと倫理へのコミットメント、透明性、そして誠実さによって関係者の信頼獲得に向けて取り組むだけでなく、社会全体の利益のために企業文化を発展させている姿が見られました。社会的な命題に優先的に取り組みつつ、サービスを提供するコミュニティのために最高の価値を創り出すことへの、インフォシスの揺るぎない取り組みの姿勢が評価されたことを喜んでます。インフォシスのすべての関係者の皆様に、今回の受賞をお祝い申し上げます。」

インフォシスの最高経営責任者 Salil Parekh は次のように述べています。「Ethisphere Institute からこの栄誉ある評価を受けたことを非常に光栄に思います。誠実さとコンプライアンスが伴った完璧な実行は当社の継続的な成功の要であり、誠実さに基づくアプローチがビジネスの成功に多大な影響を及ぼすことを、当社は確信しています。インフォシスのコ

ア・バリューは、当社が長年にわたり築いてきた成功の基盤なのです。今回の受賞は、特に昨今の前例のない困難な時期において、高い倫理基準と透明性をもって事業を運営するという当社の理念の追求をいっそう促進するものです。」

2021 年版の「世界で最も倫理的な企業」のリストはこちらでご覧になれます: <https://worldsmoethicalcompanies.com/honorees>

方法論と採点方法

Ethisphere による独自の Ethics Quotient® (倫理指数: EQ) に基づいて行われる「世界で最も倫理的な企業」の評価プロセスには、文化、環境および社会的プラクティス、倫理およびコンプライアンス活動、多様性と強いバリューチェーンを支援する取り組みに関する 200 以上の質問が含まれます。このプロセスは、世界中のさまざまな業界の組織における主導的なプラクティスを集めて成文化した運用フレームワークとして機能するものです。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度 (2013 年 3 月 3



1 日付) 年次報告書 (Form 20-F) と 2013 年第 1 四半期 (2013 年 4 月–7 月期) (Form 6-K) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com